

# 衆議院財務金融委員会ニュース

H25.6.19 第183回国会第12号

6月19日(水)、第12回の委員会が開かれました。

## 1 麻生財務大臣から発言がありました。

## 2 金融に関する件(通貨及び金融の調節に関する報告書)

- ・通貨及び金融の調節に関する報告書について、黒田日本銀行総裁から説明を聴取しました。
- ・麻生国務大臣(財務大臣・金融担当)並びに参考人に対し質疑を行いました。

(参考人) 日本銀行総裁 黒田東彦君  
日本銀行理事 田中洋樹君  
日本銀行理事 雨宮正佳君

(質疑者及び主な質疑内容)

### 山田賢司君(自民)

- ・金融緩和にもかかわらず銀行の貸出が増えていないとされているが、前年比では2%増加となっていることも含め、黒田日銀総裁の認識を伺いたい。
- ・銀行の貸出を増加させるためには、企業の経営環境改善が先決だと考えるが、大臣の見解を伺いたい。
- ・7月3日に期限を迎える日韓通貨スワップ30億ドル分について、韓国のクレジット・デフォルト・スワップ(CDS)が高くない現状において、更新を行う必要があるか。

### 上田勇君(公明)

- ・黒田日銀総裁が政府の財政健全化の重要性を強調する理由を金融政策の観点から伺いたい。
- ・中長期的に財政健全化は重要だが、短期的には消費を低迷させないためにも柔軟な財政支出をすることが重要だとする見解がある。その考えに対する黒田日銀総裁の評価を伺いたい。
- ・現在と今後の金利動向及び金利の実体経済への影響について、黒田日銀総裁の見解を伺いたい。

### 前原誠司君(民主)

- ・日銀は、今後2年間、「量的・質的金融緩和」で発表したこと以外の追加緩和はしないつもりなのか、黒田日銀総裁に確認したい。
- ・長期金利の上昇について、黒田日銀総裁は容認しているのか、問題があると認識しているのか。また、足許では、期待インフレ率(BEI)は低下し、イールドカーブは上昇しているが、黒田日銀総裁は、金利の動

きが、当初意図したようにいかない原因はどこにあると考えているか。

- ・長期金利のボラティリティが大きい理由を新規発行国債の7割を日銀が購入し、市場流動性が低下しているからだとする考えがあるが、黒田日銀総裁の見解を伺いたい。
- ・黒田日銀総裁は、2年間で2%の物価上昇を実現することは可能だと考えているのか。またその道筋について伺いたい。

### 松田学君(維新)

- ・現在の日本が、流動性の畏の状況にあるならば金融政策は効かないと考えられるが、黒田日銀総裁の現状認識を伺いたい。
- ・今後、銀行が当座預金から資金を引き出して企業に貸出を行うならば、日銀は、長期国債を売却するなど、バランスシートの調整を行う必要が生じるのか、黒田日銀総裁の見解を伺いたい。
- ・政府投資の縮小や消費税増税による経済への影響が今後懸念されるが、来年春の経済情勢に向けた全体的なポリシーミックスについて大臣の見解を伺いたい。

### 桜内文城君(維新)

- ・「通貨及び金融の調節に関する報告書」の概要説明では、「量的・質的金融緩和」による波及効果について説明していたが、現在、長期金利は上昇し、株価も元の水準に戻るなど資産価格への効果も縮減していると考えているが、黒田日銀総裁の見解を伺いたい。
- ・「量的・質的金融緩和」では、マネタリーベースを操作目標にしているが、そのことが、金融機関の信用供給をどのように増加させ、マネーストックを増やすこ

とになるのか、黒田日銀総裁に伺いたい。

- ・金融機関におけるポートフォリオ・リバランスを起こさせるためには、日銀当座預金の超過準備に係る付利の在り方を見直すべきだと考えるが、黒田日銀総裁の見解を伺いたい。

### **小池政就君（みんな）**

- ・金融危機への対応に関連し、いわゆる日銀特融実施の際のモラルハザード防止に関する日銀の対応について伺いたい。
- ・今国会で成立した金融商品取引法等改正法における金融機関の秩序ある処理の枠組みは、発動要件が不明確だと考えるが、処理が必要となるシステミックリスクとは、どのようなものか、黒田日銀総裁の見解を伺いたい。
- ・現在の経済状況を踏まえ、家計の所得を増加させる方策について黒田日銀総裁の見解を伺いたい

### **佐々木憲昭君（共産）**

- ・今年1月から3月の企業の設備投資状況に対する大臣の評価を伺いたい。また、資金が潤沢であるにもかかわらず

設備投資がマイナスとなっている理由について黒田日銀総裁の見解を伺いたい。

- ・設備投資を増加させるためには需要の増加が必要であり、減税による効果は乏しいと考えるが、大臣の見解を伺いたい。
- ・相当額の内部留保を賃金引上げなどに充て、可処分所得を増加させることが重要であると考えているが、大臣の見解を伺いたい。

### **鈴木克昌君（生活）**

- ・アベノミクスによる行き過ぎた金融緩和により、長期金利が上昇している状況下において、日銀は、どのように長期金利をコントロールしていくのかということを確認に説明し、金利低下に向けた強いメッセージを発することが必要ではないか。
- ・最近の株価や為替の変動は、アメリカの量的緩和政策の出口戦略を巡る思惑によるところも大きいと指摘されていることを踏まえ、我が国の出口戦略について、黒田日銀総裁はどのように考えるか。
- ・アベノミクスの出口戦略について、大臣の見解を伺いたい。